

日本原燃が米国の原子燃料リサイクルチームの新メンバーに

2007年3月29日(米国・メリーランド州・ベセスダ発)

アレバ社、ワシントン・グループ・インターナショナル社と BWX テクノロジーズ社からなる米国の原子燃料リサイクルチームは、本日、新たなメンバーとして日本原燃株式会社の参加を発表する。

この4社の連携は、米国・エネルギー省(DOE)が提唱する GNEP (Global Nuclear Energy Partnership) のビジョンに全面的に賛同するとともに、国内外の卓越した専門技術により GNEP をサポートするものである。

DOE は GNEP 計画の中で、米国において原子燃料サイクルを完結するために、原子燃料リサイクルセンターと先進リサイクル炉の建設について産業界の参画を求めている。このリサイクルに関するイニシアチブは、原子力エネルギーを真に持続可能なエネルギー源とするものである。

「私たちのチームは、長年の国際的な連携の経験、DOE および国立研究所との連携の経験を有しており、この経験を活かすことができる。」「私たちのチームは、まさに GNEP の名の通り『グローバル(国際性)』と『パートナーシップ(連携)』という特徴を備えている。」「米国が原子燃料サイクル技術におけるキープレイヤーとなり、また、放射性廃棄物管理に対する責任を確実に果たして行くために、DOE と米国産業界をサポートする準備が、私たちのチームにおいて既に整っている。」と Michael McMurphy 氏(メリーランド州の AREVA Inc 社・社長)はコメントしている。

六ヶ所再処理工場の建設、運転により培われた広大な専門技術を有する日本原燃が新たなメンバーに加わることで、最先端の技術と高度な保障措置技術および国際的な許認可経験、比類なき産業ノウハウを本グループは結集することができ、GNEP 中の原子燃料リサイクルセンターの設計・建設・運転に活かすことができる。

我々4社は、公的機関と民間企業の参画のもとビジネス・プランを策定し、廃棄物の低減と核拡散リスクの一層の抑制を図るべく使用済み燃料をリサイクルするための先進技術の開発を進めるという DOE のビジョンを、全面的に支援する。

各パートナー会社の概要

[日本原燃]

日本原燃株式会社(JNFL)は、商業規模の使用済燃料の再処理の分野における日本のパイオニアであり、再処理事業の他、ウラン濃縮事業、放射性廃棄物の保管および処分事業、MOX 燃料の加工事業を手がけている。

日本原燃は、青森県六ヶ所村において、世界最新の商用再処理工場の試験運転を順調かつ成功裏に進めている。日本原燃の再処理工場には最先端の再処理技術と IAEA のフルスコープの保障措置が適用されている。

原子力エネルギーの平和利用を進めるために原子燃料サイクル技術を確立することが日本原燃の使命である。

[AREVA 社]

AREVA 社は、米国における最大の原子力関連企業であり、世界最大の原子燃料サイクル会社である。再処理、MOX 燃料加工、高速炉について最先端の開発、建設、運転を行っている。

AREVA Inc 社(本社:米国・メリーランド州・ベセスダ)の 5,000 人の従業員は、米国のため電力市場の将来を開く所存である。AREVA Inc 社はその子会社も含め米国内に 40 の事業所を有し、自社のリーダーシップと世界中の専門技術やパフォーマンス実績を結合し 2006 年度売上げは約 20 億ドルとなっている。

AREVA 社は、米国および 100 か国以上の国々において、地球環境の保全と次世代への責任を果たすとともに、エネルギーをすべての人に利用可能にするという 21 世紀における最大のチャレンジをしている。

[ワシントン・グループ・インターナショナル社]

ワシントン・グループ・インターナショナル社は、1942 年から米国・DOE およびその前身から各種事業を受託し、DOE の原子力・非原子力施設のエンジニアリング、調達、建設、運転前試験、試運転および安全で効率的な運転を担務するグローバル・リーダーである。

アイダホ州の Boise 市に本社を置き、年間売上げ 30 億ドル以上、約 25,000 人の従業員が、世界各国で、電力、環境管理、国防、石油・ガス、採鉱、産業設備、輸送、水資源の分野で貢献している。

[BWX テクノロジーズ社]

BWX テクノロジーズ社(BWXT)は、商業用原子力施設の所有・運営や DOE の原子力施設・国防関連施設の運営に 50 年の歴史を有している。

BWXT は、高濃縮ウランの加工、使用、保管の事業について米国原子力安全委員会の許可を取得している。BWXT は、現在、DOE と契約し、DOE の Lynchburg テクノロジー・センターにおいて使用済み燃料の一時貯蔵と貯蔵後の再梱包、輸送が安全確実に実施できることの実証試験を担っている。

BWXT は、世界的なエネルギー・サービス会社であるマクダーモット・インターナショナル社(MDR)の 100%子会社である。